

令和6年度 介護保険施設における事故報告

施設名	うち 死亡	転 倒				転 落				誤嚥 窒息	異食	服 薬			医療処置関連		接 触		離設	交通 事故	原因不明				その他							合計
		切傷 擦過傷	打撲 捻挫 脱臼	骨折	その他	切傷 擦過傷	打撲 捻挫 脱臼	骨折	その他			誤薬	与薬 もれ	重複	チューブ 抜去	自己 抜管	裂傷	打撲			骨折	打撲	裂傷	死亡	事業者 登録失念	集団 感染	自傷 行為	介助 事故	火傷	内出血	切 傷 擦過傷	レジ オネラ 検出
短期入所生活介護		1																														1
（介護予防）短期入所生活介護																														1		1
認知症対応型共同生活介護		1			3							1								1												6
（介護予防）認知症対応型共同生活介護		1			7																											8
特定施設入居者生活介護																																
（介護予防）特定施設入居者生活介護																																
地域密着型特定施設入居者生活介護																																
介護老人福祉施設				9		1		1													6							1				18
介護老人保健施設		1	1	1		1		3		1									1		1											10
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護				1								1					1						1							8		12
介護予防通所リハビリテーション			2	2	1																											5
小規模多機能型居宅介護			2									1																				3
（介護予防）小規模多機能型居宅介護		1		2																												3
看護小規模多機能型居宅介護				2	2																	2										6
通所型介護サービス			2	2	1	2														1												8
訪問型介護サービス																																
有料・サ高住・軽費				4								1			5																	10
養護老人ホーム				1																												1
定期巡回・随時対応型訪問介護看護														1																		1
合 計		5	7	24	14	4		4		1		4		1	5		1		2	1	9		1					1		9		93

【総括】

前年度に比較し、事故総数はほぼ横ばい。（令和5年度：92件、令和6年度：93件（＋1件））

【施設種別ごとの傾向】

事故の半数以上が施設系・居住系サービスにおいて発生している。

認知症対応型共同生活介護での事故件数が前年度より減少している。（令和5年度：23件、令和6年度14件（－9件））

通所型介護サービスの事故件数は増加した。（令和5年度：8件、令和6年度13件（＋5件））

【事故種別ごとの傾向】

転倒に起因する事故が総件数の半数以上を占めており、うち骨折が24件となっている(50件中)（令和5年度：52件、令和6年度：50件（－2件））

前年度4件あった死亡事故は0件であった。（令和5年度：4件、令和6年度：0件（－4件））

前年度0件だった医療処置関連(チューブ抜去)が5件であった。